

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成25年12月19日(2013.12.19)

【公開番号】特開2012-196573(P2012-196573A)

【公開日】平成24年10月18日(2012.10.18)

【年通号数】公開・登録公報2012-042

【出願番号】特願2012-166402(P2012-166402)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 8

A 6 3 F 7/02 3 3 2 B

A 6 3 F 7/02 3 3 7

A 6 3 F 7/02 3 5 2 F

【手続補正書】

【提出日】平成25年11月5日(2013.11.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

会員用媒体の識別情報を対応して各会員の遊技情報を管理する管理手段と、遊技台に対応して設置され、会員が遊技によって得た遊技媒体の払出処理を行う払出処理手段とを有するとともに前記会員用媒体を受け付ける遊技ユニットを含む遊技システムであって、

前記遊技ユニットは、

前記管理手段に対して前記会員用媒体の識別情報を送信したことに応答して前記管理手段から送信された情報に基づいて貸出が可能である旨を判定した場合に、遊技媒体の貸出処理を実行可能にする貸出処理手段と、

前記管理手段に対して前記会員用媒体の識別情報を送信したことに応答して前記管理手段から送信された情報に基づいて再プレーが可能である旨を判定した場合に、前記払出処理手段によって貯遊技媒体の再プレー処理を実行可能にする再プレー処理手段と、

前記再プレー処理を行うに際し、再プレー要求操作を受け付けるための再プレー要求操作受付手段と

を備え、

前記管理手段は、

各会員用媒体の識別情報を対応して有価情報、貯遊技媒体数を示すデータ及び該会員用媒体の有効／無効を示すデータを記憶する記憶手段と、

前記遊技ユニットから前記会員用媒体の識別情報と対応付けて送信された情報に基づいて前記記憶手段に記憶された前記有価情報又は前記貯遊技媒体数を更新する更新手段と、

前記遊技ユニットから前記会員用媒体の識別情報を受け付けた場合に、前記記憶手段に記憶した有効／無効を示すデータが無効であれば、貸出処理又は再プレー処理を制限するように制御する制限制御手段とを備えた

ことを特徴とする遊技システム。

【請求項2】

前記遊技ユニットは、

遊技によって得られた遊技媒体を計数する計数手段と、

前記計数手段により計数された遊技媒体数を貯遊技媒体数として前記会員用媒体の識別情報と関連付けて前記管理手段へ送信する関連付手段と
を備えたことを特徴とする請求項1に記載の遊技システム。

【請求項3】

前記会員用媒体と有価価値を受け付ける会員用媒体有価情報更新手段と、
前記会員用媒体有価情報更新手段が受け付けた前記会員用媒体の識別情報を前記管理手段へ送るとともに、受け付けた有価価値の額に相当する有価情報を前記管理手段へ送信する送信手段と
をさらに備えたことを特徴とする請求項1または2に記載の遊技システム。

【請求項4】

前記遊技ユニットは、
前記再プレー処理手段による再プレーを行う場合に、前記貯遊技媒体の数量に関する表示制御を行う表示制御手段
をさらに備えたことを特徴とする請求項1～3のいずれか一つに記載の遊技システム。

【請求項5】

前記遊技ユニットは、
前記会員用媒体の排出要求を受け付け、会員用媒体の排出制御を行う排出制御手段と、
前記排出制御手段により会員用媒体の排出制御を行った場合に、その旨を示す情報を前記管理手段に対して送信する排出情報送信手段と、
会員用媒体に関連した遊技情報を前記管理手段に対して送信する遊技情報送信手段と
をさらに備え、
前記管理手段は、
前記排出情報送信手段により送信された情報に基づいて、会員用媒体の排出に関する情報を記憶し、前記遊技情報送信手段により送信された情報に基づいて、会員用媒体に関する遊技情報を記憶する関連情報記憶手段
をさらに備えたことを特徴とする請求項1～4のいずれか一つに記載の遊技システム。

【請求項6】

前記遊技ユニットは、
前記会員用媒体の受け付けが可能な状態であるときに、その旨を表示する受付可能表示手段
をさらに備えたことを特徴とする請求項1～5のいずれか一つに記載の遊技システム。

【請求項7】

前記会員用媒体に対応する認証情報の入力を受け付ける認証情報受付手段と、
前記認証情報受付手段により受け付けた認証情報の認証を行う認証手段とをさらに備え、
前記管理手段は、
前記認証手段による認証情報の認証が所定回数失敗した場合に、前記記憶手段に記憶された該会員用媒体の有効／無効を示すデータを無効とする
ことを特徴とする請求項1～6のいずれか一つに記載の遊技システム。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

上記目的を達成するため、本発明は、会員用媒体の識別情報に対応して各会員の遊技情報を管理する管理手段と、遊技台に対応して設置され、会員が遊技によって得た遊技媒体の払出処理を行う払出処理手段とを有するとともに前記会員用媒体を受け付ける遊技ユニットを含む遊技システムであって、前記遊技ユニットは、前記管理手段に対して前記会員用媒体の識別情報を送信したことに応答して前記管理手段から送信された情報に基づいて

貸出が可能である旨を判定した場合に、遊技媒体の貸出処理を実行可能にする貸出処理手段と、前記管理手段に対して前記会員用媒体の識別情報を送信したことに応答して前記管理手段から送信された情報に基づいて再プレーが可能である旨を判定した場合に、前記払出処理手段によって貯遊技媒体の再プレー処理を実行可能にする再プレー処理手段と、前記再プレー処理を行うに際し、再プレー要求操作を受け付けるための再プレー要求操作受付手段とを備え、前記管理手段は、各会員用媒体の識別情報に対応して有価情報、貯遊技媒体数を示すデータ及び該会員用媒体の有効／無効を示すデータを記憶する記憶手段と、前記遊技ユニットから前記会員用媒体の識別情報と対応付けて送信された情報に基づいて前記記憶手段に記憶された前記有価情報又は前記貯遊技媒体数を更新する更新手段と、前記遊技ユニットから前記会員用媒体の識別情報を受け付けた場合に、前記記憶手段に記憶した有効／無効を示すデータが無効であれば、貸出処理又は再プレー処理を制限するように制御する制限制御手段とを備えたことを特徴とする。

また、本発明は、上記発明において、前記遊技ユニットは、遊技によって得られた遊技媒体を計数する計数手段と、前記計数手段により計数された遊技媒体数を貯遊技媒体数として前記会員用媒体の識別情報と関連付けて前記管理手段へ送信する関連付手段とを備えたことを特徴とする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0019】

以上説明したようにこの発明によれば、会員用媒体の識別情報に対応して各会員の遊技情報を管理する管理手段と、遊技台に対応して設置され、会員が遊技によって得た遊技媒体の払出処理を行う払出処理手段とを有するとともに前記会員用媒体を受け付ける遊技ユニットを含む遊技システムであって、前記遊技ユニットは、前記管理手段に対して前記会員用媒体の識別情報を送信したことに応答して前記管理手段から送信された情報に基づいて貸出が可能である旨を判定した場合に、遊技媒体の貸出処理を実行可能にする貸出処理手段と、前記管理手段に対して前記会員用媒体の識別情報を送信したことに応答して前記管理手段から送信された情報に基づいて再プレーが可能である旨を判定した場合に、前記払出処理手段によって貯遊技媒体の再プレー処理を実行可能にする再プレー処理手段と、前記再プレー処理を行うに際し、再プレー要求操作を受け付けるための再プレー要求操作受付手段とを備え、前記管理手段は、各会員用媒体の識別情報に対応して有価情報、貯遊技媒体数を示すデータ及び該会員用媒体の有効／無効を示すデータを記憶する記憶手段と、前記遊技ユニットから前記会員用媒体の識別情報と対応付けて送信された情報に基づいて前記記憶手段に記憶された前記有価情報又は前記貯遊技媒体数を更新する更新手段と、前記遊技ユニットから前記会員用媒体の識別情報を受け付けた場合に、前記記憶手段に記憶した有効／無効を示すデータが無効であれば、貸出処理又は再プレー処理を制限するように制御する制限制御手段とを備えるよう構成したので、会員用媒体が無効である場合に、効率良く貸出要求又は再プレー要求を制限することができる。